

3月20日(月・祝)

JDS 熊本支部

道行く人たちがダンスやパネル展示等に足を止めて



3月20日、熊本市の健軍商店街において「世界ダウン症 day in 熊本」を開催しました。世界ダウン症の日のイベントは、熊本支部として初めての取り組みでした。

午前11時からスタート。世界ダウン症の日が制定された経緯、熊本地震に伴う避難所生活で周囲の理解を得られず肩身の狭い思いをした会員の話、そのようなことからダウン症について知ってもらうためのイベントであることを説明しました。続いてはダウン症のある人たちによるダンス。音楽に合わせて手を広げたりステップしながら元気に踊る姿を、道行く人に見てもらえました。スペースの一角には熊本支部の活動の様子を伝えるパネルを展示し、紹介チラシと会誌「きぼう」のバックナンバー、PRグッズも準備して道

行く方々に配布しました。

午後1時から同様の内容で行いました。雨模様の中、午前は約100名、午後は約70名が集まり、テレビや新聞の取材もありました。

【熊本支部 支部長：浦邊 聡史】



商店街で開催した熊本支部初の世界ダウン症の日関連イベント

3月20日(月・祝)

JDS 鹿児島支部

雨でバーベキューを屋内での交流会に変更



今年は、予定していたバーベキューがあいにくの雨天により、室内での交流会に変更となりました。当日は、会員をはじめダウン症のある方たちとその家族、そして私たちの活動を支援してくださっている医師・歯科医師・言語療法士・歯科衛生士・看護師の方々も参加してくださいました。

会長の挨拶で始まり、まずはゲストのダウン症ダンスサークル「サンディーズスマイルクラブ」によるダンス発表会、そしてダンスの先生によるレッスン。子どもも大人も、ダンスで体を動かして楽しみました。続いて、おやつや飲み物を囲んでの交流会。それぞれの自己紹介後、思い思いに交流を楽しんでもらいました。先生方に相談してアドバイスをもらったり、先輩家族の体験

を聞いたり、久々に会う子どもたちの成長を喜び合ったりと、時間いっぱいまで充実したひと時を過ごしてもらえたようです。

今後もダウン症のある方たちとその家族の交流の場を設け、情報を発信し続けていきたいと思えます。

【鹿児島支部 副支部長：佐々木 里依】



ダンスで体を動かした後は相談・情報交換などで充実した交流会に